

市議会だより

いちき 串木野



串木野高校生との意見交換会

3月定例会(2月20日～3月28日)

No.92

2023.5.8

- 9人の議員が市政を問う・・・P2～7
- 令和4年度補正予算審査・・・P12
- 表決結果・・・・・・・・・・P16
- 市民アンケート結果・・・P18・19
- 令和5年度当初予算審査・・・P8～11
- 条例等の制定・改正・・・P13～15
- 高校生との意見交換会・・・P17
- 6月定例会日程案・議会の動きP20

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般 質問

一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。



3月定例会の一般質問では、市政について9人の議員が23項目の質問をしました。質問・答弁の内容(3~7ページ)は、議員本人が要約しています。

※3月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を通常45分⇒30分に短縮しています。(市当局からの答弁時間は含みません。)

3月3日(金)

ひがし いくよ
東 育代 議員 (P3)

1. ペット(犬・猫)との共生について
2. 学校給食について

はらぐち まさとし
原口 政敏 議員 (P3)

1. 水産業の活性化について
2. 道徳教育について

なかさと すみと
中里 純人 議員 (P4)

1. 民生委員・児童委員について
2. PTAについて

よしどめ りょうぞう
吉留 良三 議員 (P4)

1. 学校再編と学校の働き方改革について
2. 人口減少関連施策について

たけのうち つとむ
竹之内 勉 議員 (P5)

1. 子育て世代に絞った移住・定住対策について
2. 冠岳地域の活性化の取組について
3. 甌島島民の方々との交流促進について

3月6日(月)

にしだ のりとも
西田 憲智 議員 (P5)

1. 環境行政について
2. 消防行政について
3. 教育環境の整備について

たなか かずや
田中 和矢 議員 (P6)

1. 子育て支援策で給食費補助の実現を
2. 街路灯の公費設置で事故等の回避を
3. 植樹帯の撤去は拡げる予定なのか
4. 国道3号市来バイパスの今後の整備は

たかぎ しょうじ
高木 章次 議員 (P6)

1. 川内原発について
2. 洋上風力について
3. 有機農業と学校給食について

だいろうくの かずみ
大六野 一美 議員 (P7)

1. まちの活性化について
2. 予算計上のあり方について

※一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。視聴はこちらから⇒





東 育代
議員



[映像配信ページ]

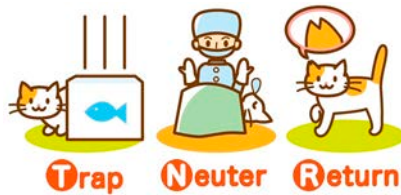
ペット条例制定は 市独自の規定を作る

問 野良猫への無責任な餌やりは逆にかわいそうな猫たちを増やすことになる。ペット(犬・猫)の飼養等についての苦情と市の対応を伺う。

答 ペットに関する苦情等は現時点で22件。無駄吠えや糞の不始末、リードなしの散歩など犬の苦情が5件。そのうち、屋外での餌やり9か所(8か所は野良猫)の苦情等の相談がある。飼い主が判明している場合や野良猫への餌やりの特定ができた4件は直接指導している。

問 さくらねこ無料不妊手術事業(TNR)の活用や地域猫活動ボランティア育成と支援について伺う。

答 飼い主のいない猫の繁殖防止のために不妊手術だけ先に行う必要がある場合、行政枠TNR先发型での申請は可能。飼い主のいない猫への問題解決には地域猫活動を行う方々の存在が不可欠であり、市としても取組を始めたい。



Trap(捕獲) Neuter(去勢・避妊手術) Return(元の場所へ)

問 大原地区まちづくり協議会では、ペット条例制定を求める要望書が出されている。早急に進めるべきではないか。

答 本市の実情に合った規定づくりにできるだけ早く取り組む。

学校給食の地元食材利用促進 学校給食週間を活用

問 米飯給食拡充と地元食材の活用状況や利用促進に向けた今後の計画を伺う。

答 1週間に米飯給食3回とパン給食2回を実施しており、当面続けていきたい。また、米は地元産のヒノヒカリを使用。野菜果物は、令和3年度4.5%。地元農家に安定した生産者組織がないので、食材の確保が厳しい。学校給食週間の中で1週間ほど地元有機野菜の利用を促進していく。

問 地産地消の学校給食には食育効果がある。学校給食を生きた教材としてどのように取り組んでいくか伺う。

答 食文化や食の歴史を理解して尊重する態度を育む教育活動を各学校で実践できるよう指導していく。



原口 政敏
議員



[映像配信ページ]

ハイブリット型わかめの養殖は 鹿児島県の海水温には適さない

問 島根県の水産技術センターでは、ハイブリット型わかめの養殖に成功している。本市でも取り入れる考えはないか。

答 島根県のハイブリット型わかめは、鹿児島県の海水温には適さないようなので、本市の環境で生育するワカメの開発について考えていきたい。現在、市内の4漁協が水産多面的機能発揮対策事業の藻場造成活動として、ワカメの種苗投入に取り組んでおり、来年度は、串木野市漁協もワカメの養殖に取り組む予定である。

漁船のエンジン修理費等の補助を 必要な助成制度の検討をしたい

問 ウクライナ・ロシア戦争の影響による燃料費の高騰や、水揚げの減少、魚価の低迷により、漁船のエンジンなどの機器が壊れたら、やめざるを得ない漁業者もいる。漁業で生計を立てている方の機器の修繕費等に対して、補助する考えはないか。

答 漁業経営が大変厳しいというお話は伺っており、本年度は、高騰する燃油に対する補助を実施している。船のエンジンは、10年や15年周期でオーバーホール(※エンジンを分解して、部品交換や清掃を行うこと)が必要だが、保険が適用されず高額なため、漁業経営に大きな負担となっていると聞く。それらをはじめ、持続可能な漁業のために必要な助成制度の検討をしたい。



道徳教育の充実を

学校教育全体を通じて充実を図りたい

問 最近、青少年による犯罪が増えているが、道徳教育は徹底されているのか。

答 学校における道徳教育は、豊かな心・生命に対する畏敬の念・人間としてのより良い生き方・善悪の適切な判断などの道徳性を育むことを狙いとしており、小・中学校では、毎週1時間、年間35時間の授業を行っている。今後も道徳科の授業や体験活動のほか、学校だよりによる啓発など、あらゆる機会を通して道徳教育を充実させたい。



中里 純人
議員



[映像配信ページ]

民生委員・児童委員

なり手不足

問 民生委員の現状並びに課題についての対策は。

答 昨年12月の改選で、定員93人に欠員3名。男性が24名、女性が66名。負担を軽減し、継続して活動していただけるよう、業務内容の見直しを検討している。

問 在宅福祉アドバイザーとの連携は取れているのか。

答 123公民館の292名に委嘱し、未設置が20公民館。一部地区で連携がうまくいっていない。負担軽減につながるよう緊密に連携を図るよう促している。

問 民生委員空白地の解消にどう関わるのか。

答 照島地区の須賀・崎下手・屋敷の3公民館と湊町、市来地域の主任児童委員が欠員。地区で候補者を選出していただき、業務の内容等を説明し、説得にあたる考えである。

問 交際費などの経費は自己負担であるが、活動費は十分か。

答 県からの年間6万200円に加え、市独自に年額14万6,400円上乗せ支給している。県内では3番目に多い。



P T A

保護者の負担軽減

問 保護者の共働きなど就労形態の変化があるなかで、全国的にP T Aを解散したり、活動を見直す動きがあるが、本市の状況はどうか。

答 P T Aは児童生徒の健全な成長を図る上で、極めて重要な役割を果たしている。会員の負担が大きい、少子化で戸数が減って役員の引受け手が見つからない、共働きや家族の介護などで活動に不安や負担を感じるという声がある。各P T Aの実情に応じて、行事の精選や小中合同での実施、専門部組織や役員の縮小など、負担軽減や活動の見直しに取り組んでいる。持続可能なP T Aの在り方について、学校、保護者、地域で連携し、さらに協議を進めたい。



吉留 良三
議員



[映像配信ページ]

学校再編方針を示すべき

第一次計画で中学校再編を検討

問 教育水準の維持向上と適正規模をどう考えるか。

答 小学校は1学年15人から20人程度以上、中学校は2学級から3学級以上が望ましいと考える。

問 学校は地域のシンボル・拠点であり、現在、移住・定住問題にも取り組んでいるが、総合的な観点で学校の在り方の検討を。

答 急速な少子化で、教育環境が厳しい状況にあり、やむなく再編を議論し作業を進めている。

問 I C Tを活用した遠隔合同授業導入など統廃合ありきでない

選択肢も検討すべきではないか。

答 現在本市でも、旭・荒川・川上小学校でオンライン授業に取り組んで、学びが深まる良さはあるが、集団学習等の制約を考えると学校再編に進まざるを得ない。

問 教育環境は、人を呼び込む大きな魅力だと言われるが。

答 単なる数合わせではない本市ならではの特色・魅力ある教育を付け加えるように模索中である。

部活動の地域移行は

令和7年度を目標

問 教員のなり手不足が深刻。教員の負担軽減として部活動の地域移行は、4月から始まるのか。

答 7年度に休日の部活動の地域移行が目標。顧問の負担軽減で教育の質の向上・充実をめざす。

問 I C T教育導入の現状と学力向上、業務軽減の成果はどうか。

答 電子黒板やデジタル教材、児童生徒の考えを可視化できるアプリなどを導入し、4月からは校務支援システムを導入する。4年度の授業におけるI C Tの活用頻度は全国に比べて高い。成果として学習定着度調査では昨年14教科中7教科が県平均を上回った。

問 校務支援システムの導入による教員の負担軽減の見込みは。

答 成績管理、出欠管理などの情報を一元管理することで、作業負担やミスを軽減できる。

若者照準の移住定住対策を

移住希望増に応え、魅力を高める

問 若者の移住希望が増えている。どのような対策を行うのか。

答 これまで住まい確保支援として空き家バンク制度など取り組み、一定の成果があった。今後は市内事業所への人材確保、市内経済の活性化に結びつく施策が必要。



竹之内 勉
議員



[映像配信ページ]

子育て世代に絞った移住定住対策 産み育てやすい環境をつくる

問 本市も医療費無償化をはじめ種々の対策を打ってきたが、思った成果が得られていない。情報発信に課題があるのでは。

答 移住後の生活がイメージできるようにホームページ等々含めそうした観点で工夫し見直していきたい。

冠岳地域の活性化について 関係人口の動きが見えてきている

問 冠嶽芸術文化村構想推進事業成果をどう生かしていくつもりか。

答 コロナ禍もあり芳しいものではなかったが、今後も地域の皆様や関係人口の方々、また、えんたくの皆さんとも一緒になって地域の活性化について、協議・議論していきたい。

問 学校施設等の活用に文科省の廃校プロジェクト事業を利用し大いにPRすべきではないか。

答 令和5年度まで用途変更の制限があり、その中での活用となった。今後は、民間が入った中での活用を市民皆様のご意見を吸い上げつつ検討していきたい。

甌島島民の方々との交流の促進を 今までの施策を更に充実させたい

問 三代目フェリーの就航、甌島商船の創立記念など節目節目で、行政としても島民との交流、航路活性化の取組が必要では。

答 これまでの長い人的・経済的な交流の歴史を大切に、薩

摩川内市、甌島商船等と新たな発展に向けて協議をしていきたい。

問 シーフードバザール広場を繁忙期の駐車場にできないか。

答 これまでも要望があったが、航路待合場所まで遠いということで、市の駐車場を準備した。今後は繁忙期の対応を検討したい。

問 市駐車場横の工業団地用地に適正規模の駐車場を整備し、シーフードバザール広場条例を解いて、同用地の活用を図ってはどうか。

答 今後は、シーフードバザール広場の抜本的な計画の見直しも含めて検討が必要と考えている。



(シーフードバザール広場)



西田 憲智
議員



[映像配信ページ]

資源循環型経済による地域創生へ 積極的な情報収集に努めたい

問 焼却・埋立てしているごみを活用した地域での資源循環型経済の構想について伺う。

答 本市のごみ質、焼却量だけでは発電設備の安定的な稼働は現時点では難しい。今後、施設の在り方を検討する際、生ごみの肥料化や飼料化等、あらゆる廃棄物の処理方法について検討する必要があるため情報収集に努めたい。

問 廃食油の分別は有価物回収として市の財源の確保になり、需要も高まると思うがいかがか。

答 収集の在り方や設備整備などを含め、総合的に検討したい。

問 環境センター施設について検討する時期ではないか伺う。

答 現施設も23年経過、整備に毎年約1億円を予算計上している。総稼働年数40年となる令和21年度まで稼働可能であるが、同等の新建設費を試算すると約110億円で、今後はごみ処理の広域化を検討する必要がある。

消防団の体制についての取組は 参集できる方策を検討したい

問 団員の確保について、取組の効果と今後の対策を伺う。

答 消防団幹部や消防後援会等に勧誘をお願いしているが欠員が常態化しており、定数の見直しや組織再編を検討していきたい。

問 消防ポンプ車運行に必要な準中型免許の取得に要する経費を補助する考えはないか伺う。

答 普通免許で運転できる車両への更新計画を定めた上で、補助

制度があれば活用を検討したい。

消防業務における広域化の検討は 進展のない現状

問 消防広域化の検討について、課題と今後の対策を伺う。

答 消防業務の共同運用及び消防庁が推奨する消防本部の広域化は各市の事情もあり難しい。

学校の特別教室の空調整備計画は 優先順位を考慮し整備を進めたい

問 小・中学校の専科授業を代替教室として普通教室で行えない学校の空調整備は急務でないか。

答 優先順位を図り、理科室や音楽室など特別教室にも早く整備ができるように検討したい。

問 今年の夏に空調設置が間に合わない場合の対応はどうか。

答 大型スポットクーラーを準備しており活用し対応したい。



田中 和矢
議員



[映像配信ページ]

子育て支援で給食費補助の実現を 給食費は保護者が負担すべきもの

問 先の12月議会の市長答弁では「低所得者世帯には就学援助費を助成しており、給食費の半額助成は考えていない」とのことだが、全ての生徒に半額助成だと、1人当たり月に1,200円。この助成もやらない市政に歯がゆさと残念な思いで再び質問しているが、所得制限なしで全ての世帯に寄り添い、ふるさと納税を使った給食費の全額補助を実現できないか伺う。

答 学校給食法で給食費は保護者が負担するべきと規定。生活困窮者には、就学援助制度で支援し、

5年度は学校給食会にも1,000万円を予算計上し、保護者の負担軽減を図る。

問 全国の1,600市町村の3割以上がすでに無償化し、加速・拡大している。県内でも南さつま市・日置市・南九州市・南大隅町と次々に無償化。本市でも補助を打ち出す気持ちはないか。

答 無償化すると毎年1億円の財源が必要。喫緊の課題である人口減少・少子化対策に効果がある優先度の高い事業のほうに予算の提案をしている。

街路灯の公費設置で事故の回避を 設置基準を満たし危険なら可能

問 設置基準には「街路灯は道路附属物で設置。管理者は市道なら市」と定める。市の対応を伺う。

答 歩道幅員2m以上、交通量が多い幹線、通学路等で危険があると判断する所に設置できる。

植樹帯の撤去地域を広げる予定は 年次的に整備し見通しを確保する

問 歩行者などの見通しに支障がある県道の植樹帯の撤去についての要望は。

答 県道については、管理予算も限られコスト縮減の面からも、要望があれば検討する旨、県から回答あり。



(京町付近植樹帯撤去場所)

国道市来バイパスの今後の整備は 3号線の混雑状況等を注視する

問 工事中止30年、整備推進を要請する考えはないか伺う。

答 渋滞緩和等の必要性を勘案し、南九州西回り自動車道を優先する。



高木 章次
議員



[映像配信ページ]

川内原発の60年超え運転について 国において判断すべきもの

問 岸田政権は、原発の60年超え運転を可能にすることや次世代原発開発など、原発推進へ法律を改正しようとしている。川内原発の場合、再稼働審査期間とテロ対策期限切れの停止期間を加えると1号機は約66年運転になる。期間延長についての考えを伺う。

答 安全確認は原子力規制委員会が、原発の運転期間延長については国のエネルギー政策に関わるので、国において判断すべき。

問 市長は、去年の答弁で40年で廃炉が望ましいと発言して

いるが、今回の答弁と反するのでは。

答 その時点では法律改正されていないため、法律40年が原則ということである。

問 3月5日の南日本新聞に60年を超える運転は不支持71%、政策については説明不十分92%とあるが、これをどう考えるか。

答 専門的、技術的な部分について安全であるということがしっかりと国民に伝わっていない。

問 2014年の1か月半の間に再稼働反対の署名が住民の過半数を超えており、運転延長を本市住民が納得すると思うか。

答 安心・安全のメッセージを出すのは、国であり原子力規制委員会である。

洋上風力発電の主体と形式 着床式か浮体式で探りたい

問 本市が主体的に建設地域、建設規模、浮体式か着床式か、地

元と事業者との関係など、仮決定し、条件に合う事業者を選定、計画を検討すべきと考えるが。

答 本市において着床式がいいのか、浮体式がいいのか、最大限可能性を探っていきたい。

給食に有機。有機農業拡大は 好評だが。農家拡大は研究を

問 1月に5日間、初めて有機野菜を使った学校給食の反応は。

答 「野菜がおいしかった」「無農薬ですごい」「今後も頑張る」と激励があったが、数量を確保することが重要であり、今すぐ年間を通じて納入することは難しい。1週間ほどの短期間利用の推進に努めたい。

問 南さつま市は積極的に有機農業の拡大に努めているが。

答 新規就農、次世代の担い手育成など資料をいただいたので、研究させていただきたい。



大六野 一美
議員



[映像配信ページ]

まちの活性化について

大消費地においてまぐろをPR

問 様々な対策が検討されていることは散見されるが、残念ながら効果として目につきにくい状況であることは否めないのでは。

答 本市のまぐろ漁業は、サバ漁からまぐろ漁場を近海から遠洋に拡大し、本市の基幹産業になっている。また、市内のまぐろ料理専門店には県内外から多くの来場があり、ふるさと納税では7,000万円の寄附をいただいている。

問 現実的に本市での水揚げは何年もない状況で、清水、焼津に水揚げされているのが実態では。

答 3月下旬に関係者の協力で、本市でキハダマグロ25トンが水揚げされる予定となっている。

問 商店街との協議は必須条件だが、先進地事例を参考に一歩も二歩も前へ進めることが町の活性化になると信じるが。

答 ミナミマグロは九州での認知度が低いが、関東や関西では高級魚の取扱いであり、将来的に南九州西回り自動車道の全面開通で、本市での水揚げも可能になってくると思われる。

問 ドリームキャノピーを中心とした一帯をアメ横のようにまぐろを中心とした商店街の構築こそが本市が生きる道だと思うが。

答 常時常設し、それだけの店が継続して営業するには、それに見合う需要が必要。継続してやることは難しいと思っている。

問 テレビ番組に日本一長く言いつづらぬ市として紹介されてい

たが、まぐろの町の冠をはずし、日本一長い名前の市で売り出したらどうか。宣伝費だけで、お金もさほど必要ない。本市がある限りその名はなくなるのでよいのでは。

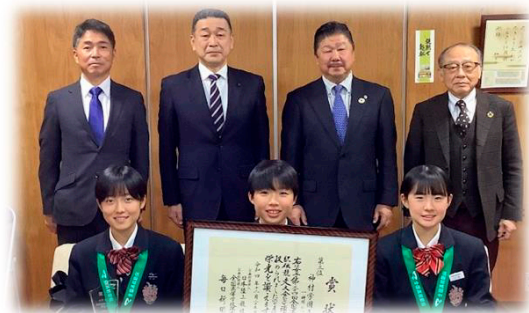
答 市の宣伝については、宿題として受け取らせていただく。

問 ふるさと納税をいくつかの大きな施策に分けて大胆に活用すべきでは。

答 寄附者の意向もあり、制度上の問題もある。重点化すべき項目はまだあるかと思うので、それに加えスピード感を念頭におきながら取り組んでいきたい。



神村学園高等部 女子駅伝部表敬訪問



2月24日(金)に神村学園高等部女子駅伝部の皆さんが表敬訪問されました。

昨年の12月25日に行われた女子第34回全国高等学校駅伝競走大会において、第3位の成績を収められました。1時間8分3秒のタイムで、5年連続の表彰台となりました。

今後のさらなるご活躍を期待します。

地区まちづくり連絡協議会 会長との意見交換会



2月7日(火)に市の防災センターで各まちづくり連絡協議会会長との意見交換会を開催しました。地区の会長16名が参加され、出されたテーマの中から「公園の整備について」・「フリースクールの開設について」・「人口減少対策について」の3つのテーマにしほり意見交換を行いました。貴重なご意見をありがとうございました。

～これからの社会を担う子どもや若者を
中心とした施策を重点的に展開～

前年度比
1.9%の増

総額 167 億 4,200 万円

令和5年度 一般会計予算を可決

令和5年度の予算について、議長を除く15名の委員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、3月13日～16日（14日を除く3日間）にわたり審査を行いました。（委員長 松崎幹夫・副委員長 江口祥子）

人口減少・少子化対策

出会いから子育てのそれぞれの段階において経済的・人的サポートを充実させます。

- ◇ 地域少子化対策重点推進交付金事業 367万円
- 新** 結婚活動支援補助金 500万円
- ◇ 結婚新生活支援事業補助金 360万円
- 新** イクボス企業応援助成金 280万円
- 新** 住民税課税世帯の0～2歳児保育料無償化 5,319万円
- 新** 出産・子育て応援事業 1,665万円
- ◇ 未来の宝子育て支援金 648万円
- 新** 放課後児童健全育成事業利用料助成補助金 48万円
- ◇ 病児・病後児保育事業 1,224万円
- 新** 学校給食食材価格高騰対策事業 1,045万円

まちの魅力づくり

このまちで「子育てしたい」「住みたい」と選ばれる特色ある施策を展開します。

- 新** 夢中塾中塾事業 198万円
- ◇ 空き家活用事業 519万円
- 新** 外国人留学生支援事業 644万円
- 新** 飲食店新規出店促進事業補助金 300万円
- 新** 食のまち魅力発信事業「いちき串木野未来100年食ものがたり」781万円
- 新** 心の教育相談員配置事業 375万円
- ◇ 特別支援教育支援員配置事業 2,517万円
- 新** 高等学校支援検討協議会経費 21万円
- ◇ 薩摩スチューデント基金積立金 1,000万円

安心して暮らせるまちづくり

ハードとソフトの両面から住み続けられる安心安全な環境をつくります。

- 新** 重層的支援体制整備事業 286万円
- 新** 孤立孤独対策事業 100万円
- 新** 消防施設整備事業 3,850万円
(高規格救急車の更新)
- 新** 消防庁舎改修事業 5,200万円
- 新** 防災行政無線施設整備事業 820万円
- 新** 内水氾濫浸水対策事業 2,000万円
- ◇ 河川維持費 3,100万円
(吉村川護岸整備等)



吉村川(生福)

議会費 0.9%

1億4,470万円
(▲100万円)



総務費 9.8%

16億4,202万円
(↗4,161万円)



民生費 26.8%

44億8,121万円
(↗4,123万円)



衛生費 13.2%

22億1,826万円
(↗3,844万円)



労働費 0.1%

1,587万円
(↗667万円)



農林水産業費 3.0%

5億203万円
(▲1億3,633万円)



未来につながる 投資の推進

将来を見据えた産業の創出
と振興をはかります。

- ◇ IT企業誘致推進事業 2,388万円
- ◇ 洋上風力発電調査研究事業
3,384万円
- 新** スマート農業推進事業 115万円
- 新** 新規就農者育成総合対策事業
452万円
- 新** かごしまの農業未来創造支援事業
補助金 750万円
- 新** さつま地区広域漁場整備事業負担
金 100万円
- ◇ 種子島周辺漁業対策事業(えびす
市場の駐車場整備等) 4,835万円



えびす市場駐車場整備予定地

- 新** 総合イベント助成事業補助金
2,000万円

- ◇ 薩摩藩英国留学生記念館特別企画
展事業 675万円

- 新** パークゴルフ場改修事業 680万円



パークゴルフ場視察

- ◇ 冠岳観光資源活用PR事業
380万円

- ◇ 鹿児島国民体育大会・全国障害者
スポーツ大会開催経費
1億5,200万円



- 新** アクアホール空調等改修事業
600万円



アクアホール視察

特別会計・公営企業会計

国民健康保険

38億7,333万円
(▲3,602万円)

介護保険

37億6,684万円
(▲239万円)

後期高齢者医療

5億1,620万円
(▲428万円)

水道事業

【収益的】

収入 6億8,705万円(▲50万円)
支出 6億5,913万円(▲2,649万円)

【資本的】

収入 3億1,624万円(▲3,119万円)
支出 5億9,899万円(▲2,366万円)

下水道事業

【収益的】

収入 5億6,892万円(▲3,999万円)
支出 5億4,060万円(▲3,282万円)

【資本的】

収入 2億7,732万円(▲5,578万円)
支出 4億4,942万円(▲1,607万円)

商工費 16.3%

27億2,874万円
(▲1億4,071万円)



土木費 7.1%

12億9,863万円
(▲2億7,162万円)



消防費 3.6%

6億318万円
(▲961万円)



教育費 5.7%

9億5,272万円
(▲5,489万円)



災害復旧費 0.3%

4,620万円
(▲30万円)



公債費 12.5%

20億9,839万円
(▲1億3,856万円)



委員からの質疑 (主なもの)



予算審査特別委員会の様子

空き家活用事業

519 万円

空き家の実態調査を、上名・照島・本浦・野平の4地区まちづくり協議会に委託し、空き家対策の協議を行う。



また、冠岳地区で空き家を活用した新たな拠点づくりを行い、地域の活性化を図る。

問冠岳地区における新たな拠点づくりは、どういうことを想定しているのか。

答関係人口と地域の方々が一緒になり、地域活性化組織を編成して、活用できる空き家を選定し、どのようなことができるか検討していく。想定する活用例としては、ゲストハウス・レンタルスペース・飲食店など、地域内外の方々と交流できるものを想定。

外国人留学生支援事業

644 万円

将来本市に就職することを条件に、市内企業から奨学金を受け外国人留学生に対し、市内企業とともに学費等を支援することで、本市への転入による人口の増加及び地域の活性化につなげていく。



問この事業を始める意義は。

答授業料を支援することによって、経済的に支援する側面もあるが、市内経済の中で各事業所が人材不足に苦慮している状況もあり、この制度を設けることで、人材不足の解消につながればと思っている。

イクボス企業応援助成金

280 万円

育児休業を取得しやすい地域社会環境の醸成を図るため、本市に事業所を有する企業等に対し、男性の育児休業の取得期間の実績に応じて助成を行う。



- ・育児休業取得期間に応じ 10～25 万円
- ・申請見込数 20 件
- ※イクボスとは：
育児を支援する上司

問この助成金について、育児休業はどれくらいの取得期間が多いと想定しているか。また、この助成金は用途を限定しているのか。

答育児休業期間が、5 日以上 1 か月未満の申請が多いと想定している。この企業への助成金は、代替の従業員の賃金や職場環境の整備などに使っていただきたいので、用途は限定しない。

危険廃屋等解体撤去工事補助金

975 万円

危険廃屋等から日常生活における市民の安全安心を確保するとともに、景観や住環境の向上、地域経済活性化を図るために、危険廃屋等解体費用の一部を補助する。

- ・補助対象工事 30 万円以上
- ・補助率 1/3 以内
- 危険廃屋解体補助 上限額 30 万円
- 空き家解体補助 上限額 15 万円
- ・対象者数(見込み) 59 件



問通学路などに危険廃屋があるが、今後どのように対応していくのか。

答個人の財産ということもあり、通知をなるべく個人で対応してもらうよう粘り強く進めてきたが、所有者不明など、対応が難しいケースもあり苦慮している。市で解体するには、基準を整備する必要があり、基本的な方針としては、行政代執行・略式代執行も視野に入れて進めたい。

スマート農業推進事業

115万円

スマート農業に関するセミナーの開催や、実証実験のための環境モニタリングシステムの導入などにより、スマート農業の推進に取り組む。



※スマート農業とは：
ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用して、省力化・精密化し、高品質生産の実現を推進する新たな農業

問 スマート農業をどのように推進していくのか。

答 市内の農業者に、スマート農業の取組等を説明し、意見や意向等をうかがっていく。また、ハウス等の施設管理に環境モニタリングシステムを導入し、実証実験を行う予定。システムを導入することでハウス内の気温や湿度、土壌の水分量などをデータ化し、見える化を行うことで、経営の効率化が図れると考えており、実証実験を通して周知を図りたい。

飲食店新規出店促進事業補助金

300万円

食のまちを推進するため、新たに市内に飲食店を新築または店舗等を購入し、開店を行う事業者に対し補助する。

- ・新築：（市内事業者施工）補助率 1/2 上限 300万円
（市外事業者施工）補助率 1/3 上限 200万円
- ・空き店舗等
改築：（市内事業者施工）補助率 1/2 上限 200万円
（市外事業者施工）補助率 1/3 上限 100万円
- 購入： 補助率 1/2 上限 100万円

問 食のまちを推進するためにも、出店にあたっては、地元の特産品や食材を使用することなど、条件を付けて補助するべきではないか。

答 この事業は、まちの魅力を高めるため、これまで築き上げた食のまちのイメージをさらに推し進め、交流人口の更なる充実を図ることを趣旨としており、条件を付すことは考えていないが、地元食材の流通は、大事な視点であることから使用をお願いしていきたい。

消防庁舎改修事業

5,200万円

感染症流行時において、継続的に業務を行えるよう、消防本部での感染防止を図るため、仮眠室の個室化やトイレ・浴室・洗面所の改修などを行う。



問 以前から分遣所の統廃合、あるいは消防庁舎を新設しようとの話が出ていたが、今後の消防行政の中で、どのような考えをもっているのか。

答 現在の消防庁舎を有効活用していきたい。消防力の向上については、職員体制等も含め、充実させていくことが得策ではないかと判断するが、引き続き検討していく。

一般介護予防事業

1,212万円

第1号被保険者に対する一般的な介護予防事業を実施する。



- ・ころばん体操事業
- ・介護予防教室事業
- ・高齢者元気度アップ地域活性化事業(個人)
- ・地域リハビリテーション活動支援事業

問 ころばん体操は、高齢化が進んでいくと公民館単位で行っていたこの事業も厳しくなると思うが、今後、どのように持続させていく考えか。

答 令和4年度から、ころばん体操に参加していない若年層をターゲットにした体操教室を開催している。地域のころばん体操よりも、体操講師が行う体操教室で活動したいという要望もあることから、令和5年度も事業を継続しながら間口を広げていきたい。

下水道使用料

2億2,537万円

延べ件数 60,469件
総処理量 1,608,776トン



問 下水道料金改定の検討時期に来ているのではないか。

答 比較的大規模な企業が、公共下水道区域で操業を開始するため、今後の下水道使用料の収入及び経費の状況が変わってくることが考えられる。そこを踏まえ、今回は引き上げの判断に至らなかった。今後継続的に検討したい。

3月定例会補正予算 990万円追加計上

地方バス市内路線維持費補助金・

薩摩スチューデント基金積立金など

《令和4年度一般会計予算総額 183億5,842万8,000円》

一般会計:歳入の主なもの

- 普通交付税(追加) 3億7,972万円
- 教育支援寄附金 1,000万円
株式会社マリン工業からの寄附金
- スポーツ振興くじ助成金 1,600万円

一般会計:歳出の主なもの

- 市来高齢者福祉センターの空調改修事業 148万円
経年劣化により故障した市来高齢者福祉センターの空調設備を改修します。

- 有害鳥獣対策 鳥獣捕獲実績に基づき補助金を追加します。
- 有害鳥獣捕獲事業補助金 510万円

	当初	変更後	増減
捕獲数 (匹・頭・羽)	1,619	2,270	651

- 鳥獣被害対策実践事業補助金 207万円

	当初	変更後	増減
捕獲数 (匹・頭・羽)	1,823	2,228	405

- 農地集積協力金事業 699万円
荒川第2団地の農地集積に対する協力金を追加します。

- 地域間幹線系統確保維持費補助金 368万円
上川内・鹿児島線(3系統)のバス運行に対して補助します。

- 地方バス市内路線維持費補助金 1,073万円
羽島・土川線、串木野新港線のバス運行に対して補助します。

- 県単砂防事業負担金 210万円
大原地区花立の急傾斜地の法面を修繕します。

- 羽島漁港地域水産基盤整備事業負担金 774万円
総事業費の増により、県営事業負担金を追加します。

	既定額	決定額	増減
総事業費	1,500万円	6,053万円	4,553万円
負担金	255万円	1,029万円	774万円

- 水産基盤機能保全事業負担金 720万円
総事業費の増により、県営事業負担金を追加します。

	既定額	決定額	増減
総事業費	5,000万円	8,600万円	3,600万円
負担金	1,000万円	1,720万円	720万円

- 薩摩スチューデント基金積立金 1,000万円
薩摩スチューデント奨学プログラムの奨学金返還支援に充てる基金へ積み立てます。

特別会計

- 国民健康保険 2億546万円
一般被保険者の療養諸費等の増を見込み、保険給付費等を追加します。

- 介護保険 ▲1億1,283万円
介護サービス等の年間利用の減を見込み、保険給付費等を減額します。

令和5年度一般会計補正予算
1億667万7,000円追加計上
《予算総額 168億4,867万7,000円》

- 新型コロナウイルスワクチン1億677万円
接種体制確保事業
新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種の期間が1年間延長されたことに伴い、追加接種可能な全ての年齢の方が受けられるよう接種体制を確保します。

条例の制定・改正、その他

市サテライトオフィス設置条例の一部改正

サテライトオフィスの利便性向上を図るため、開館時間及び休館日について改正します。

【改正箇所】令和5年4月1日施行

	改正前	改正後
開館時間	午前9時～午後5時	午前9時～午後7時
休館日	日曜日・土曜日・祝日	日曜日・祝日

問 今回、開館時間及び休館日を改正することで、経費がどのくらい増えるのか。また、利用者数をどの程度見込んでいるのか。

答 経費については、人件費や光熱費など、約300万円の増を見込んでいる。利用者数については、現在、閉館1時間前の利用者数が延べ284人、15%程度が引き続き利用されると想定し、土曜日にも仕事の関係で利用されると考えている。

(サテライト
オフィス)



各地区交流センターの指定管理者の指定

- 指定期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)
- 募集方法：非公募

施設名	指定管理者	管理委託料 (基準額)年額
生福交流センター	生福地区まちづくり協議会	1,463,000
冠岳交流センター	冠岳地区まちづくり協議会	1,099,000
照島交流センター	照島地区まちづくり協議会	1,149,000
旭交流センター	旭地区まちづくり協議会	1,026,000
荒川交流センター	荒川地区まちづくり協議会	942,000
川南交流センター	支え合う川南みんなの会	518,000
川北交流センター	川北まちづくり協議会	669,000
川上交流センター 川上ふれあい公園	川上コミュニティ協議会	1,458,000
本浦交流センター	本浦地区まちづくり協議会	815,000
中央交流センター	中央地区まちづくり協議会	1,202,000
上名交流センター	上名地区まちづくり協議会	1,432,000
野平交流センター	野平地区コミュニティ協議会	748,000
土川交流センター	土川自治公民館	743,000

町の区域の設定及び変更

麓土地区画整理事業区域周辺部の大字上名について、町の区域を設定及び変更します。

【町の区域の設定】

○上名の5字を「小園」へ、16字を「大園」へ変更

町名	大字名	字名
小園	上名	内窪・梶鼻・門前・瀬城作・小園
大園	上名	七曲り・石原堀・下鞍輪・石井手・宮宇都・柳野・豊留・向井原・甚五堀・平石原・鬼原・鬼塚・中ノ園・大園・宮迫・鍋田

【町の区域の変更】

○上名の14字を「麓」へ、1字を「日出町」へ、18字を「浅山」へ変更

町名	大字名	字名
麓	上名	新開・針原沖・宇都良・瀬戸口・八久保・北原・東川骨・新屋敷・城ノ元・上木屋原・下木屋原・竹之下・大堂庵・瀬城作
日出町	上名	釜牟田
浅山	上名	五反田・瘦下・岩坂・水頭・青阿弥陀・浅井田・下浅井田・觸園・浅井田平・山之神・山之神下・森淵・妙見・榎木田・今熊・川屋ヶ迫・日置田・田尻田

市総合運動公園体育施設条例の一部改正

パークゴルフ場の休場日等の変更及び回数券の種類を追加するため、改正します。

【改正箇所】令和5年4月1日施行

	改正前	改正後
休場日	12月29日～1月3日	12月29日～1月1日
開場時間	4月～6月 10月～3月 午前9時～午後5時	4月～6月 9月～3月 午前8時30分～午後5時
	7月～9月 午前9時～午後7時	7月～8月 午前8時30分～午後7時
使用料	大人1日 520円 11枚綴り 5,200円	大人1日 520円 11枚綴り 5,200円 33枚綴り 15,000円

市基金条例の一部改正

新たな奨学金制度の創設に当たり、現行の奨学金を廃止し、薩摩スチューデント基金を設置するため、改正します。

【改正箇所】 令和5年4月1日施行

	改正前	改正後
基金名	いちき串木野市奨学金基金 中島奨学金基金 乗添奨学金基金	薩摩スチューデント基金

問 単年度で30人ずつの借入れを見込んでいるとのことだが、基金の積立総額は、当初予算を入れても4,700万円程度で、寄附では確実な額が見込めないが、不足分については、どのように基金を増やしていく考えか。

答 借入者30人のうち、5人程度が市内に住んだと想定し、年間補助した場合に必要な金額は、10年間で8,000万円ほどと捉えており、この10年間に1,000万円ずつ積み立てていくことで、その所要額は確保されると考えている。積立ては、企業版のふるさと納税や一般会計からの繰入れも想定しており、一般財源で積み立てる部分については、国の特別交付税の半額措置を想定している。

市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、開示決定等の期限など必要な事項を定めます。

【現行制度】

所管	総務省		個人情報保護委員会	各地方公共団体
法令	行政機関個人情報保護法	独立行政法人等個人情報保護法	個人情報保護法	個人情報保護条例
対象	国の行政機関	独立行政法人等	民間事業者	地方公共団体

【新制度】 令和5年4月1日施行

所管	個人情報保護委員会			
法令	(新)個人情報保護法			
対象	国の行政機関	独立行政法人等	民間事業者	地方公共団体

○実施機関：市長（水道事業及び下水道事業の管理者の権限を行う市長を含む）・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・農業委員会及び固定資産評価審査委員会

市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定

市個人情報保護条例の廃止により、情報公開審査会及び個人情報保護審査会を統合し、新たに設置する情報公開・個人情報保護審査会に関し、必要な事項を定めます。

【変更前】

- ・個人情報保護条例(廃止)…個人情報保護審査会
- ・情報公開条例……………情報公開審査会

【変更後】

- ・(新)個人情報保護法施行条例
 - ・情報公開条例
- 統合
- 情報公開・個人情報保護審査会
〔(新)情報公開・個人情報保護審査会条例〕

市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、市議会の保有する個人情報の適正な取扱いについて、必要な事項を定めます。

市児童館条例の廃止

海浜児童センターについて、老朽化により、令和5年6月30日をもって施設を廃止するため、条例を廃止します。

(海浜児童センター) ▶



市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布を踏まえ、出産育児一時金の額について改正します。

【改正箇所】 令和5年4月1日施行

	改正前	改正後
出産育児一時金(条例)	40万8,000円	48万8,000円
加算額(規則) ※産科医療補償制度	1万2,000円	1万2,000円
合計	42万円	50万円

※産科医療補償制度：分娩に関連して発症した「脳性まひ」になったケースに対し補償金を支払う制度

市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

運営に関する基準の一部改正に伴い、懲戒に係る権限の濫用禁止規定の削除等を行うため、改正します。

市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 及び 市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

運営に関する基準の一部改正に伴い、安全計画の策定及び自動車を行なう場合の所在確認等を定めるため、改正します。

市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正

子育て世帯の負担軽減を図ることを目的に、国の無償化の対象とならない住民税課税世帯の0歳から2歳児までの利用者負担額を市独自で無償化するため、改正します。

- 対象施設：保育園・認定こども園・認可外保育施設(認可外保育園など)
- 施行日：令和5年4月1日

市道の認定

鹿児島県から移管される主要地方道川内・串木野線の旧道路敷を新たに白浜・荒川浜線として市道認定します。



白浜・荒川浜線 (延長 1,056m・幅員 7m)

市地方卸売市場条例及び市特別会計設置条例を廃止する条例の制定

日置北部公設地方卸売市場を廃止するため、条例を廃止します。

問 この市場の開設から今日まで、補助金を含めて、どれくらいの金額が投入され、そのうち市の負担はどれくらいか。

答 事業費では、建設費で約2億8,846万円、そのうち国庫・県補助等を差し引いた市の負担は、約2,007万円である。あわせて、約1億5,019万円の土地購入を市の単独で行っている。平成8年度から平成16年度まで、市場の運営に対して、5,370万円を補助し、施設使用料については、3,037万円程度の減免を行っている。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

土川地区の辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更します。

- 市道土川線の法面補修工事の工法変更に伴う事業費の増：1億6,900万円 ⇒ 2億9,050万円
- 事業期間：2年 ⇒ 3年(令和6年完成予定)

※これに伴い、辺地対策事業債の予定額についても2億9,050万円に変更する。

市営住宅条例の一部改正

新生町住宅及び袴田住宅のそれぞれ1棟1戸並びに松尾住宅1棟4戸を用途廃止するため、改正します。

【改正箇所】令和5年4月1日施行

	改正前	改正後
新生町住宅 (昭和34年度建設)	4棟4戸	3棟3戸
袴田住宅 (昭和37年度建設)	2棟2戸	1棟1戸
松尾住宅 (昭和41年度建設)	1棟4戸	(廃止)

※市営住宅の団地・戸数
26団地507戸⇒25団地501戸(1団地減：松尾住宅)

市監査委員の選任

任期満了に伴い、竹崎 健二郎 氏が引き続き市の監査委員に選任されました。

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、井手迫 なみ子 氏は引き続き推薦され、大平 良徳 氏の後任として、久木野 親志 氏が推薦されました。

≪ 継続審査とした陳情 … 1件 ≫

- 【令和4年陳情第1号】
分煙環境整備に関する陳情



3月定例会の表決結果

議案番号	議案の件名	議決結果	
議案第1号	いちき串木野市サテライトオフィス設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第2号 ～第14号	生福・冠岳・照島・旭・荒川・川南・川北・川上・本浦・中央・上名・野平・土川交流センターの指定管理者の指定について	可決	全会一致
議案第15号	町の区域の設定及び変更について	可決	全会一致
議案第16号	いちき串木野市基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第17号	いちき串木野市総合運動公園体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第18号	いちき串木野市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第19号	いちき串木野市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第20号	いちき串木野市児童館条例を廃止する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第21号	いちき串木野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第22号	いちき串木野市子ども・子育て会議条例及びいちき串木野市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第23号	いちき串木野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第24号	いちき串木野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及びいちき串木野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第25号	いちき串木野市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第26号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	全会一致
議案第27号	市道の認定について	可決	全会一致
議案第28号	いちき串木野市地方卸売市場条例及びいちき串木野市特別会計設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第29号	いちき串木野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第30号	いちき串木野市監査委員の選任について	同意	賛成多数
議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	賛成多数
議案第32号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	賛成多数
議案第33号	いちき串木野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
予算議案第8号	令和4年度いちき串木野市一般会計補正予算(第9号) (地方バス市内路線維持費補助金・薩摩スチューデント基金積立金など)	原案可決	全会一致
国特予算 議案第3号	令和4年度いちき串木野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
介護予算 議案第3号	令和4年度いちき串木野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
後特予算 議案第3号	令和4年度いちき串木野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
予算議案 第1号	令和5年度いちき串木野市一般会計予算	原案可決	賛成多数
予算議案 第2号	令和5年度いちき串木野市一般会計補正予算(第1号) (新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業)	原案可決	全会一致
国特予算 議案第1号	令和5年度いちき串木野市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致
介護予算 議案第1号	令和5年度いちき串木野市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致
後特予算 議案第1号	令和5年度いちき串木野市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
水道予算 議案第1号	令和5年度いちき串木野市水道事業会計予算	原案可決	全会一致
下水道予算 議案第1号	令和5年度いちき串木野市下水道事業会計予算	原案可決	全会一致

■ 賛否が分かれた議案 ○は賛成、●は反対、※は欠席 *議長職のため表決に参加しない

議案番号	(議員氏名) (議案名)	西田	田畑	高木	江口	吉留	松崎	田中	中村	大八	東	中里	竹之内	下迫	原口	福田	濱田
		憲智	和彦	章次	祥子	良三	幹夫	和矢	敏彦	野一美	育代	純人	内勉	田良信	政敏	清宏	尚
予算議案第1号	令和5年度いちき串木野市一般会計予算	○	○	●	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	*

初開催!!

串木野高校生との意見交換会

2月3日(金)に串木野高等学校の3年生 18名と議員 16名で意見交換会を開催しました。選挙権が18歳に引き下げられたことに伴い、高校生に政治に対する理解と関心をもってもらい、また、意見交換会を通して高校生の思いを知ることを目的として、今回初めて高校生との意見交換を行いました。

議員控室でお互いに自己紹介をしたあと、議場で学校のPRや「串木野学」の発表、また2つのテーマについて意見交換を行いました。初めは少し緊張した面持ちでしたが、元気よく意見を述べてくれました。高校生の視点からのアイデアや提案にとっても感心し、良い刺激を受けました。

学校PR

と高校生との意見交換

串木野高校は一人一人だれもが主人公になれる学校です!



永山嵐士さん・小松琢人さん

串木野学の発表



佐藤孝則さん・東隼也さん・小松琢人さん

いちき串木野市の食のイメージをさらに高めるには?

3号線沿いに「食のまち」がイメージできる魅力ある目立つ看板を設置しては?



神山奈々さん

いちき串木野市で自然に優しい家づくりを推進するには?

市の特産品であるサワーポメロに含まれるシトラールの成分で防虫剤がつけられるのでは?

With コロナの結婚式の新たな形を!

県内の様々な地で、野外ドレスを活用して写真を撮り、思い出を作る旅を提案します!



塚田和樹さん・小園実海さん

いちき串木野市立図書館の利用者を増やすには?

空き家をテーマごとの本が揃う図書館として活用しては?



川元あい子さん

サワーポメロフレグランスプレートの認知度を高めるには? 魅力的なロゴを作ってみては?



三野沙織さん

意見交換テーマ1: 「串木野高校の入学者を増やすためには」



吉住愛美さん

現在新たな部活動同好会を設置し、令和5年度には、新しい制服を導入します。ホームページだけではなく、インスタグラムなどのSNSを使って、生徒目線の情報を生徒自身が発信したらどうか?

串木野高校は、国公立大学をめざす人にとっても良い勉強の場だと感じる。また、進学だけではなく、就職などそれぞれの面に向けての学習もできる。もっとPRが必要!

部活動で串木野高校を盛り上げていくには、実績が必要なので、練習がたくさんできる環境の整備をお願いしたい!

串木野高校にも留学生を受け入れてみては?



西元拓歩さん

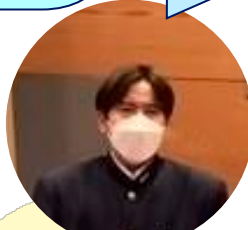
市外の人にも「食のまち」を知ってもらうためには、若い世代が利用しているInstagramやTwitterを利用した情報発信が必要では? 海に面し、魚が多くとれるので、南九州市にあるタツノオトシゴハウスのような小さな水族館を市で設置運営し、漁業体験やまぐろの解体など、家族連れが体験できるようなイベントを開催してみては?



安田結翔さん



永山嵐士さん



緒方渉さん

高校生の皆さん、ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

いちき串木野市議会活性化のための 市民アンケート(調査結果)

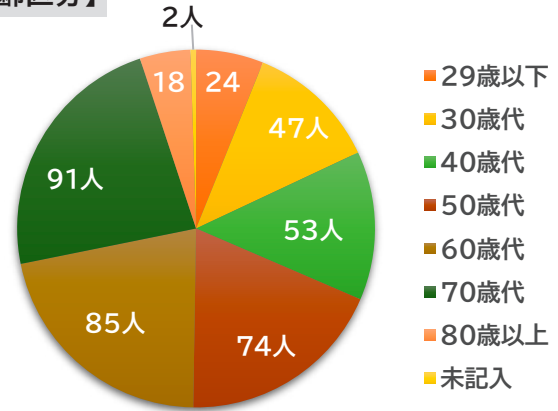


令和4年11月から12月上旬にかけて実施したアンケート調査については、市民の皆さま方から、394件の回答をいただき、誠にありがとうございました。

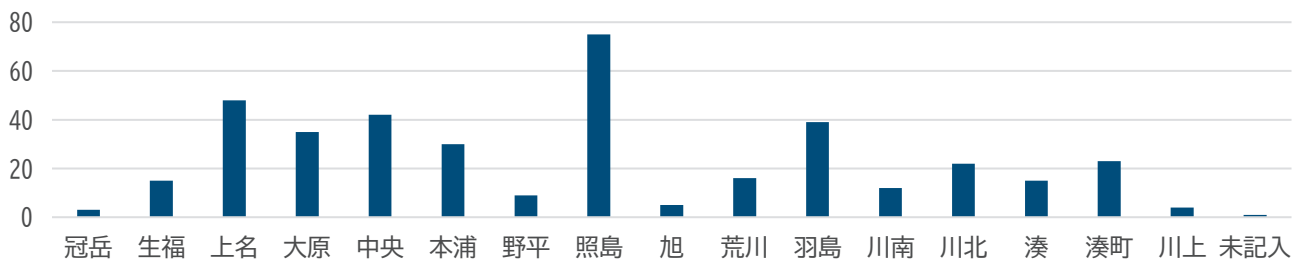
集計作業が終了しましたので、設問ごとの回答結果のほか、議会に対するご意見等についても要約して掲載いたします。

【性別】	男性	205人	(52.0%)
	女性	186人	(47.2%)
	未記入	3人	(0.8%)

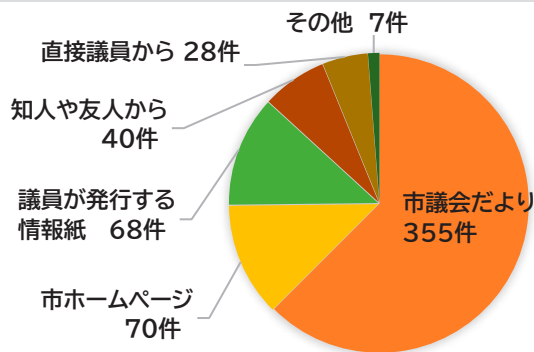
【年齢区分】



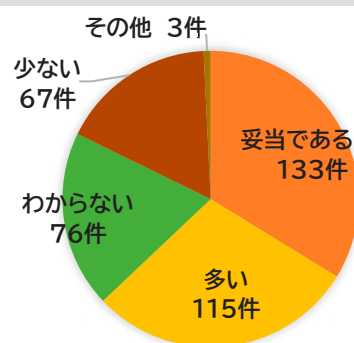
【地区】



【問1】市議会からの情報をどのようにして知りますか。(複数回答可)



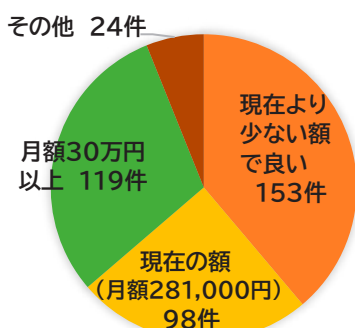
【問2】本市の議員報酬は妥当だと思いますか。(月額281,000円)



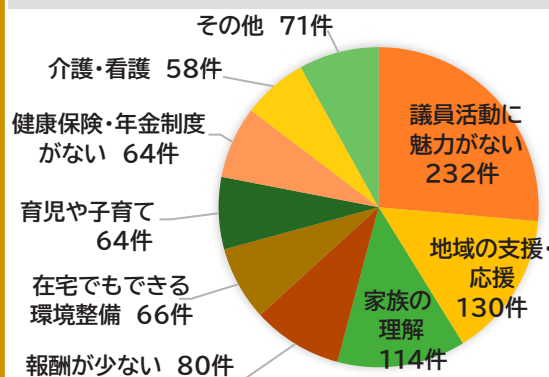
【その他意見】

- ・若い世代に手厚くしてほしい。
- ・ある程度は成果に応じて。

【問3】あなたが議員をめざしたら、どの程度の報酬が必要ですか。



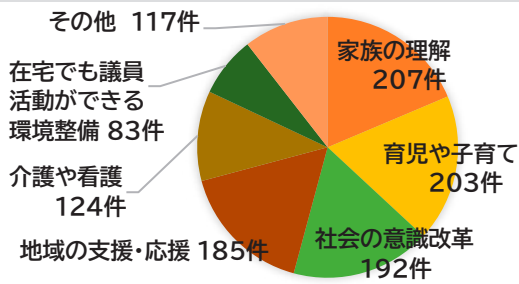
【問4】議員のなり手が少ない理由や問題点、課題は何だと思いますか。(複数回答可)



【その他意見】

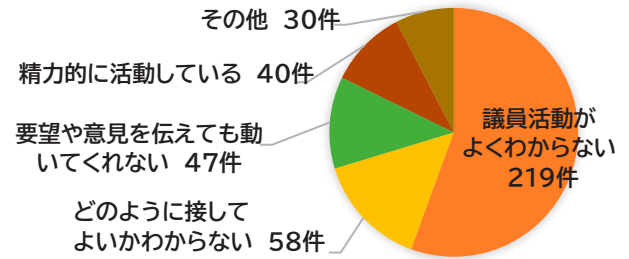
- ・若者は落選すると生活の保障がない。
- ・活動がみえてこないなので議員に魅力を感じない。

【問5】 女性が市議会議員をめざすためには、何が必要で、問題点や課題は何だと思えますか。(複数回答可)



【その他意見】
・市政への興味・関心。 ・女性の参画意識。

【問6】 市議会議員の活動について、どう思いますか。



【その他意見】
・どのような活動をしているか知る場が少ない。
・活動している方と、していない方との差がある。

【問7】 どのようなことや活動を議員にしてほしいですか。

◆子育て・福祉・教育等に関すること

- ・子育てしやすいまちづくりを積極的に行ってほしい。
- ・子育て世代の声をたくさん聞いてほしい。
- ・福祉、子育て環境などの問題点を議会に反映してほしい。
- ・高齢者や障害者、児童政策の拡充。
- ・学校給食の無償化。

◆まちづくり・地域活動等に関すること

- ・地域のまちづくりに協議会と共に取り組んでほしい。
- ・地域の活性化。
- ・今後の公民館活動を考えてほしい。

◆空き家問題・生活環境等に関すること

- ・空き家問題などを気軽に相談にのってほしい。
- ・身近な生活環境の整備。

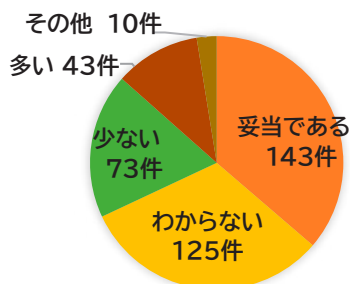
◆企業誘致・産業振興等に関すること

- ・若者が定住できる社会環境づくり、企業誘致ほか。
- ・商店街の復興。
- ・無農薬の農業の推進、連携。

◆政策の提案・その他に関すること

- ・思い切った政策でいちき串木野市を明るくしてほしい。
- ・未来のいちき串木野市についての活動。
- ・市民との交流。

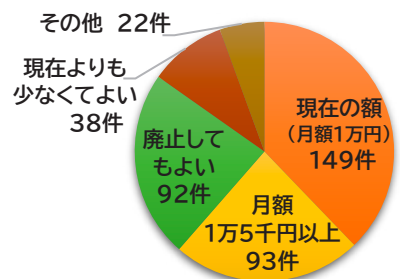
【問8】 本市の政務活動費(月額1万円)の額は妥当だと思いますか。



【問9】 政務活動費が妥当でないと思う理由は何ですか。

- ・報酬内で活動を。
- ・月額1万円では何もできない。
- ・本当に必要であれば必要額を支給。
- ・具体的な活動内容が分からないので何とも言えない。

【問10】 妥当な政務活動費はいくらだと思いますか。



【自由意見・その他の意見等】

●議員定数を大幅に減らして報酬を今よりも多くしなければ、現役世代からの立候補は難しいと思う。 ●人口に対して議員の数が多いと思う。 ●もう少し議員もボランティアを頑張ってもらいたい。 ●議員と市民の距離が遠く感じる。 ●市議のなかに、子育てに一生懸命に尽力くださる方がいたら嬉しい。 ●もっと市民の意見を簡単に伝えられる場所があれば。 ●市民との対話をもっとすべき。 ●身近な市議になって欲しい。 ●議会中継を毎回見ているが行政への突っ込みが足りない。 ●若い人たちの新しい意見を取り入れていかないと街が衰退するばかり。 ●女性議員や若手の議員を増やしてほしい。 ●サラリーマンでも議員になれるような制度があればと思う。 ●議員の高齢化が気になる。 ●現状の公民館は、3～5年後は限界集落に近い公民館となる。公民館合併や集落の活性化を考えてほしい。 ●議員の夢物語を発表してください。 ●市議会だよりが読みやすく毎回楽しみにしています。 ●誰かがやらなければならないので頑張してほしい。 ●大変でしょうが、魅力あるまちづくりを期待します。

令和5年第2回(6月) 定例会の日程(案)

第2回(6月)定例会を下記の日程で行います。
※今後の状況により、変更になることもあります。

月日(曜日)	内容
6月6日(火)	本会議(開会日・議案質疑)
6月16日(金) 6月19日(月)	本会議(一般質問)
6月20日(火)	常任委員会(総務厚生委員会)
6月21日(水)	常任委員会(産業教育委員会)
6月29日(木)	本会議(最終日)

※時間はいずれも午前10時からです。

議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会等は原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。
〈3月議会定例会の傍聴は、延べ20人でした。〉
※本会議の様子は、こちらから中継をご覧ください



表紙写真募集!

★次号の表紙写真を募集します。
応募期限は**6月20日まで**。
※詳しくは、市のホームページをご覧ください。

★応募はこちらから



まぐろの水揚げの様子

議会の動き (令和5年2月~4月)

2月

- 3日 串木野高校生との意見交換会
- 7日 議会運営委員会
地区まちづくり連絡協議会会長との意見交換会
- 9日 第11回議会活性化推進特別委員会
- 13日 タブレット活用推進委員会
- 14日 衛生処理組合議会定例会
視察受入れ(茨城県大洗町議会)
- 16日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会
本会議(開会日・議案質疑)
- 21日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 22日 常任委員会(産業教育委員会)

3月

- 3日 一般質問
- 6日 一般質問

- 7日 議案質疑
議員全員協議会
- 8日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 9日 常任委員会(産業教育委員会)
- 13~16日 予算審査特別委員会(14日を除く)
- 24日 議会運営委員会
- 28日 議員全員協議会
本会議(最終日)
議会広報特別委員会

4月

- 7日 議会広報特別委員会
- 11日 タブレット活用推進委員会
- 18日 議会広報特別委員会
第12回議会活性化推進特別委員会
- 20日 議員研修会(日置市議会との合同研修会)

編集後記

コロナ禍も一区切りつき、以前の社会活動が再び動き始めました。私達の周りでは様々な問題が起き、生活に直結する重要な事が次々に決定されています。遠慮せず自分の考えを発言し行動する、身近な地域の課題を改めて考え、興味関心を持つ機会に、この「議会だより」を利用してもらえれば有り難いです。
(田中 和矢)

議会広報特別委員会

- 委員長 東 育代
- 副委員長 江口 祥子
- 委員 西田 憲智
- ” 田畑 和彦
- ” 高木 章次
- ” 田中 和矢